

令和6年度第1学期 始業式あいさつ

昨年度に引き続き、校長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

明日は入学式が行われますが、昨日、バスケットボール部員と農業土木科の生徒の皆さんが、この会場設営をしてくれました。農業土木科の生徒の中には、手伝いのためだけに登校してくれた人もいます。本当に感謝しています。

どうも、ありがとうございました。

それでは、令和6年度第1学期の始業式に当たり、4つのお願いをします。

私が何を話すのかはおおよそ予想できると思いますが、聞いてください。

1つめは、「令和6年度の目標と目標達成のための行動計画を立てて実践してほしい」ということです。

今年度の目標を立てた人は手を挙げてください。手が挙がらなかった人の中にも目標を立てた人がいると思います。私の目標はこれだと他人に言う必要はありませんが、あるのかないのかくらいは自信をもって意思表示できるくらいの強い気持ちのこもった目標にしてください。

2つめは、「登下校や校外での過ごし方に気を付けてほしい」ということです。

終業式で、学校評議員の方から遅刻が多いことについて厳しく指摘されたことを話しました。私が地域の方々に「本校の生徒は頑張って成果をあげています。」とアナウンスしても、一般市民の方にとっては、遅刻しても平気な生徒がいることや街中で迷惑な過ごし方をする生徒がいることの方が気になるということです。

悪い印象が定着してしまったら、たとえば部活で活躍したとしても、逆に「アンチ都・農」を増やしてしまいます。「都・農の生徒が公共の場を不適切に使用しているので、小さい子どもたちが怖がっている。」という苦情を受けたことがありました。今、地域の方々に迷惑を掛けている生徒はいないと思いますが、常に地域の方々から見られているということを意識してください。

「ここに都・農があって良かった」、「都・農の生徒は地域の誇り」と言われるような学校になるために、小中学生だけではなく、大人のお手本にもなるような言動をお願いします。

3つめは、「いじめのない学校に協力してください」ということです。「いじめ」がある学校は、安心して勉強や部活等に取り組むことができない空間、場合によっては危険な場所になります。

対面で不愉快になるような言葉を発したり、態度を見せたり、また、SNSを用いた誹謗中傷をしたりすることはあってはなりません。特にSNSは発信側の意図が伝わらなかった場合、受け取った側の感情が優先されて、後でどんなに説明しても発信側が責任を負うこととなります。余計な情報発信は絶対にしないようにしてください。

それから、言わなくてもわかると思いますが、暴言や暴力で他人の心や体に危害を加えること、あるいは、お金や持ち物を奪ったり、他人の物にいたずらをしたりするいじめは犯罪行為です。理性で感情を抑えながら、軽々しい行動を慎んで、その言動の先に待っていることを想像する習慣を身に付けてほしいと思います。

最後に、「自転車乗車時にはヘルメットを着用しましょう」ということです。ヘルメットを着用せずに自転車に乗ることは法律違反です。県内には、校則でノーヘルでの自転車登下校を禁止した学校があります。

ヘルメット着用は道路交通法で定められており、登下校だけではなく、日常生活の中で大人も子どもも着用すべきものですので、協力をお願いします。

新年度のはじめにあたっての話は以上で終わりですが、終業式の時に「小さいことを積み上げていくことが、とんでもないところへ行く、ただ一つの道」という元・大リーガーのイチローさんの言葉を紹介しました。

「とんでもないところへ行く」ということは、「大きな夢を叶える」という意味ですので、大きな夢を叶えるためには、毎日の小さな努力を怠らない人になる必要があります。

したがって、大きな夢を叶えたい人は、「何か成果を残す一年」ではなく、「夢を叶えるために地道に取り組む習慣を身に付ける一年」にしても良いと思います。

それでは、令和6年度もみんなで頑張りましょう。

以上で、始業式の校長講話を終わります。

令和6年4月9日

宮崎県立都城農業高等学校

校長 山下 勉